

エンドポイント用AMP Linuxコネクタ – ウィルス対策の非互換性

内容

[はじめに](#)

[Cisco AMP for Endpoints LinuxコネクタとAVの互換性がないことがわかっている点を挙げてください。](#)


はじめに

このドキュメントでは、AMP for Endpoints Linuxコネクタのアンチウイルス(AV)の非互換性について説明します。

Cisco AMP for Endpoints LinuxコネクタとAVの互換性がないことがわかっている点を挙げてください。

AMP for Endpoints Linuxコネクタに干渉することが判明しているAVアプリケーションのリストを次に示します。

- RHEL/CentOS 6.xでのF-Secure Linuxセキュリティ
- Kasperskyエンドポイントセキュリティ。
- Linux用McAfee VSE
- Linux向けMcAfeeエンドポイントセキュリティ
- RHEL/CentOS 6.x上のSophos Server Security 9
- Symantec Endpoint Protectionの略。
- RHELのカーボンブラック7.
- Trend Micro DSA (デイープセキュリティエージェント)。

 注：互換性のあるアプリケーションに問題を起こす可能性のある追加アプリケーションやアップデートが存在する場合があります。詳細については、ユーザガイド、特にLinuxの章を参照してください

(<https://docs.amp.cisco.com/en/A4E/AMP%20for%20Endpoints%20User%20Guide.pdf>)。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。